

tent Naganoとは



たのしい「あっ」がうまれる新しい学び

otentのような柔らかい空間に包まれ、子どもたちに何か学んでほしい、何かのきっかけになるワクワクする場を提供したい。

- 「まなび」を得る場や切り口を子どもと共有したい。
- 「遊び」→「気付き」→「学び」のプロセスを大切にしています。



活動場所：長野市内の公民館や図書館、市民交流センターなどの公共施設
対象：長野市内の小学生
参加費：無料

新型コロナウイルス対策

- ・参加者・主催者（tentNaganoメンバー）は開催日2週間前から検温する。
- ・必要最低限の参加人数及び活動時間を設定し、厳守する。
- ・発熱（37.5℃以上）、咳、くしゃみ、呼吸困難、鼻水、味覚異常の体調不良の方の参加をお断りする。
- ・活動前後でアルコール消毒液による手指消毒を行う。
- ・使用した道具や設備はこまめに、殺菌・消毒を行う。
- ・密にならないよう、人との距離を2m保ちマスク着用を徹底する。等

その他安全対策・配慮

- ・参加者の募集や参加者とのメールでのやり取りは個人情報の取り扱いに注意する。
- ・ハサミなどのけがの恐れがある道具類を用いる活動では、対象学年の検討を行い、必要に応じて軍手を用いた使用もしくは大学生が作業を行うなどの対応をとる。
- ・tentで撮影した写真、製作物、感想文等はtentに関する報告書や広報（チラシやSNS、Webページ等）に載せる許可を得ている。

今回申請する経費に関して

経費は昨年度の経費をもとに今年度3回のイベントにかかる経費を計算しました。

品目	規格、その他の内容等	数量	金額
広告費（チラシ印刷代）	A4 両面カラー印刷	1200部×3回	9000円
イベント保険費	損保ジャパン日本興亜レクリエーション保険区分A	600円×3回	1800円
企画費（消耗品）	画用紙、割りばし等イベントで使うもの		18000円
交通費	電車、バス代等		15000円

広告費：長野市の小学校に配布するチラシの印刷費
イベント保険費：1回のイベント20名参加の場合600円×年3回
企画費：イベントごとに企画で使う消耗品を購入、ワークシートの印刷費等
交通費：イベント当日、打ち合わせ、チラシ配布等に用いる交通費

- Q. 昨年度の取組の内容と成果について教えていただきたい。
- Q. すでに実績があり、興味深い活動ですか、もう少しこれまでの活動の具体的な様子を教えてください。例えば、昨年度はいつ、どれくらい参加してどんな活動をしたのかなど（Webサイトでも一定照会されていますが）

A. 昨年度は7月18日、11月26日に2回三輪公民館で開催しました。コロナの影響により4回の開催予定を2回に減らして開催しました。昨年度は2回の開催で合計36名の小学生を招くことができました。昨年度行った活動から、7月18日に行った「お願い村長さん」の活動について説明します。

「お願い村長さん」は、企画を考えた大学生からの「選挙にいこう」が強くアピールされているが、実際に誰に投票したらいいかわからない、という実際に選挙を経験した大学生の思いから、実際に選挙を行いその選挙によって町づくりに変化が生まれるゲームを行いました。子どもたちに選挙に関心を持ってもらうこと、選挙に参加すると（しないと）町や自分の暮らしにどのような影響があるか考えることで、選挙の意味を考えてもらうことを学びの目的に据え活動を行いました。

参加した小学生10名にはそれぞれ町に住む住人役のプロフィールを配り、一緒に住む子供や職業や今の悩みからその住民は誰に投票したいのか考えていきます。候補者の情報も子どもたちが分かりやすいように編集を加えましたが、実際の選挙で得られる情報に近づけ、選挙の結果によって町の住民に与えられる支援等に変化がうまれ計3回の選挙で町や自分たちの暮らしがどのように変化するのか知り、選挙の意味を考えることができました。行ったゲームは学びの目的をもとに1からアイデアを考えました。

Q. 具体的な活動内容の説明が不足しているので、できるだけ具体的な活動内容と計画とを示してほしい。

A. 今年度は8月、12月、3月の三回のイベントの開催と、長野市南部図書館の「図書館祭り」参加を予定しています。

メンバーはイベントの企画を考える「企画チーム」だけでなく、チラシ作成を行う「クリエイター」、会場予約や各種申請、参加者との連絡を行う「ネゴシエーター」などのグループに分かれ活動しています。教育実習等があるため感染症対策のため、メンバーはオンラインツールを用いて週1程度会議を行い、必要最低限の対面活動でイベントの準備を行います。

長野市内の小学校にチラシ配布を行うのもメンバーが行っています。チラシ制作や企画制作等の準備を2・3か月前から行い、1か月前から公民館の予約、教育委員会の後援申請、チラシ発注及び小学校への配布を行っています。イベント開催後には、活動の様子をYouTubeや報告書にまとめ、次の参加者や大学生メンバーがtent Naganoの活動の興味を持ってもらえるようにしています。また、反省会を行い、次の活動に向けて準備を行っていきます。

Q. 対象者である小学生は、tent Naganoに何を期待して参加しようとするかと想定していますか。また、参加者のその期待に応えるために、本プロジェクトはどのような独自の取り組みを行おうとしていますか。

A. 子供たちは何かワクワクすることをしたい！楽しいことをしたい！と思ってtentに参加してくださると考えています。私たちは「学び」を提供するために活動していますが、それはただ学校で行うような「勉強」や「授業」ではなく、学校では体験できない、遊びや活動の中で「学び」や「新しい発見」ができるように企画を考えています。また、tentでの学びやワクワクのきっかけが、今後の子供たちの日常生活を送るうえでの新たな視点になったり学びたいという意欲に繋がることを期待しています。そのため、tent Naganoでは企画を考えるとき、「学びの目的」を据え、そのためにどのような遊びができるか考えています。

Q. 今回、Educational Challenge だからこそ、できることは何ですか？（今回の Educational Challenge をきっかけに学生の活動がより活発になることを期待しています。）

A. 活動の幅がより広がると考えます。現在、子供たちが身近にできる活動や資金内でできる活動に留めていますが、ワクワクするような企画をより考えやすくなると思います。

また、子どもたちに無料で学びを届けたいという思いから、現在参加費無料で活動を行っていますが、活動費に制限がある以上今後自分たちだけでは無料で開催を続けることが難しいと考えています。

Educational Challengeによって今年度も子どもたちに参加費無料で活動を届けたいと考えています。